

報道関係各位

2021年12月13日

日本ユニシス株式会社
北陸鉄道株式会社 株式会社ホクリクコム
株式会社計画情報研究所 エヌシーイー株式会社

金沢市において、金沢市住民向けにまちなか消費・公共交通利用の行動変容を促す地域アプリ「い〜じ〜金沢パス」の提供とデータ利活用の実証実験を開始します。

主体事業者として日本ユニシス株式会社、協力事業者として北陸鉄道株式会社、株式会社ホクリクコム、株式会社計画情報研究所、エヌシーイー株式会社が共同し、金沢市において MaaS (Mobility as a Service) および移動データ利活用の実証実験を本日から開始します。

本実験では、金沢市住民向けに地域アプリ「い〜じ〜金沢パス」を提供します。アプリ上で金沢市内店舗施設のイベント情報、スポット情報、クーポン、交通系サービスへのリンク（デジタルチケットサービス「のりまっし金沢」等）を提供して金沢市住民のまちなかへの移動・消費を促すとともに、利用者のデータ提供受容性検証や移動データの利活用の検証を進めていきます。

なお本実験は、経済産業省 令和3年度「地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用推進事業」に選定されています。



金沢市住民向け地域アプリ「い〜じ〜金沢パス」



App Store



Google Play

- | | |
|------------|---|
| 1. 実験期間 | 2021年12月13日(月)～2022年3月31日(木) |
| 2. 事業者と役割 | 主体事業者 日本ユニシス株式会社 (全体統括、「い〜じ〜金沢パス」の開発・運用)
協力事業者 北陸鉄道株式会社 (市内協力事業者との折衝およびプロモーション)
協力事業者 株式会社ホクリクコム (データ分析)
協力事業者 株式会社計画情報研究所 (データ分析)
協力事業者 エヌシーイー株式会社 (データ分析) |
| 3. 実験の目的 | ○移動目的と移動手段の統合による、まちなか消費・公共交通利用の行動変容の検証
○利用者のデータ提供受容性を検証
○移動データの利活用機会を広げて MaaS およびデータ利活用の社会実装を進める |
| 4. 実験/検証内容 | 別紙に記載 |

以上

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ> https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/

(別紙) 実験／検証内容

**地域アプリ検証
(い〜じ〜金沢パス)**

イベント情報やお店のクーポン等で利用者のおでかけ意欲を刺激。交通チケットや経路検索と組み合わせ情報提供することで公共交通利用を促進。



利用者



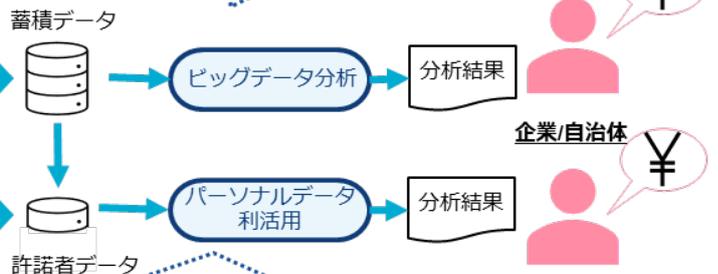
ビッグデータ利活用検証

アプリ取得データに加え、バスのOD、ETC2.0、タクシードロブなどのデータを用いて、5つのユースケースを検証。

1. まちづくりの効果計測
2. まちなか周遊行動分析
3. 駐車場混雑予測
4. 自家用車での来街者の経路分析
5. バスとタクシーの移動需要分析

**データ利活用の
ビジネスモデル
検証**

企業/自治体等へのヒアリングを実施。



企業/自治体

企業/自治体

モビリティデータ提供に対する社会受容性評価

利用者に対して、データ提供に関する必要情報（データ提供先・範囲・目的等）を開示。ユースケースの内容やインセンティブ（商品券等）の有無による受容性の違いを分析。

パーソナルデータ利活用検証

許諾者データを用いて、第三者（民間/公共）と連携した3つのユースケースを検証。

1. 商業エリアの行動分析によるサービス向上
2. 特定エリアへの近接をもとに適時プロモーション実施
3. まちづくりなど公共性の高い施策への活用